

小学校・中学校・高等学校の体育授業における見学者の状況 大学生を対象とした振り返り調査の定量的分析

Status of the “Kengaku-sha” in physical education classes during elementary school, junior high school, and high school

Quantitative analysis of retrospective research in university students

岩沼聡一郎, 長見真
帝京科学大学

Soichiro IWANUMA, Makoto NAGAMI
Teikyo University of Science

要約： 体育授業では、疾病や忘れ物等を理由に、見学という形で授業に出席する場合がある。その際、見学者に対する教育的配慮は、授業者の幅広い裁量に委ねられている。見学者においても、学びの機会や運動・スポーツに関する発達を保障する必要があると考えられる。しかし、体育授業における見学の実態は明らかとなっていない。本研究では、小学校・中学校・高等学校での体育授業における見学状況を把握することを目的とした。大学生に対して各校種での見学経験を振り返ってもらい、webフォームにて回答させた。得られた回答から定量的分析を行い、小学校・中学校・高等学校の体育授業における見学状況の全体像を検討した。その結果、体育授業における見学では、①校種や性、授業内容（領域）に関連して特徴的な傾向が見られること、②見学時の過ごし方が授業者主体で決められること、③見学の理由に個々の体育授業の好き・嫌いや評定が関連すること、が示された。

I. はじめに

体育授業では、疾病や忘れ物等を理由に、見学という形で授業に出席する場合がある。実際、筆者らが中学校および高等学校の体育授業を視察した際も、体育館の傍らで全体の活動を眺める生徒や、プールサイドで実技書を片手にレポートを書く生徒などが見受けられた。見学について、現行の小学校および中学校学習指導要領およびその解説（体育編，2017；保健体育編，2017）には記載がなく、高等学校学習指導要領解説 保健体育編（2018）の「水泳」にて、「見学の場合も、状況によっては、安全の確保や練習に対する協力者として参加させたりするなどの配慮をすること。」という一文が記載される程度にとどまっている。つまり、体育授業の見学者に対する教育的配慮については、授業者の幅広い裁量に委ねられていることが伺える。

澤江（2017）は、障害のある児童・生徒が通常学級で体育授業に出席した際に同じ教場に存在するだけで主たる活動内容に参加できていない事例を挙げ、そのような児童・生徒における教育権や

運動・スポーツに関する発達権を保障できていないことを指摘している。障害のない児童・生徒であっても、体育授業の場において一時的または慢性的な理由によって見学という学習形態をとり、活動が制限される場合がある。体育授業の出席者の中で見学者が占める割合は決して多くはないものの、見学者においても澤江（2017）が指摘する教育権や運動・スポーツに関する発達権を保障する必要があると考えられる。

小学校・中学校・高等学校の体育授業における見学者に対して、どのような教育的配慮をすべきなのかを議論するには、まず体育授業における見学の実態を理解しておく必要がある。しかし、体育授業における見学者について、事例的に語られることはあっても、その全体像を捉えるような定量調査は管見の限り行われていない。体育授業における見学の実態を明らかにするためには、現役の児童・生徒や教員に対して調査することが有効と考えられる。しかしながら、前述のとおり、全体像が捉えられていない現状においては、予備的調査が必要な段階と言えよう。

II. 研究目的

本研究では、大学生が小学校・中学校・高等学校の3校種で体育授業の経験があることに着目し、各校種での体育授業における見学状況について把握することを目的とした。また、女性の場合に月経中の見学(佐藤, 1988)等もありえることから、見学状況については性差も踏まえて検討することにした。

III. 研究方法

本研究では、東京近郊にある4年制大学に所属する3,4年生、計2,357名を対象とした。対象となった大学は、理工学系学部、医療系学部、教育系学部の3学部から構成されていた。上記の対象者に対して、Eメールにて調査の説明および調査協力の依頼を行い、webフォーム(Google form)にて無記名式の質問調査(同意の確認項目も含む)を行った。調査期間は2021年10月27日から10月31日であった。同意があり回答があった割合は12.1%(287名)であった。なお、調査に先立ち、帝京科学大学人を対象とする研究に関する倫理審査委員会の承認を得た(承認番号 21A031)。

調査では、性別、年齢、所属学科の種類、疾患・障害の有無、校種別での体育授業の好き・嫌い、体育の評定、体力、体格、体育授業における見学経験の有無、見学の回数、見学の授業内容(領域)、見学の理由、見学のための手続き、見学時の過ごし方に関する質問項目を設定した(付録)。本論(第1報)では、体育授業における見学に関して、定量的分析を行うことによって全体像を把握するという目的から、選択式の調査項目に限定してまとめ、記述式の調査項目(見学時の理由や過ごし方に関する定性的分析)については第2報でまとめることにした。

各調査項目は、校種別および性別にまとめた。各調査項目と校種、性別との関連については、クロス集計を行い、 χ^2 -検定を用いて検討した。ただし、性別「どちらでもない」については、回答数が少なかったため、統計処理には含めず、参考値として取り扱うことにした。また、複数回答可の調査項目については、選択肢ごとに選択された場合を「1」、選択されなかった場合を「0」として設定し、各選択肢と校種、性別との関連について、同様にクロス集計と χ^2 -検定を用いて検討した。見学経験の有無と個人の諸特性(体育授業の好き・嫌い、体育の評定、体力、体格)の関連、および

見学の各理由(選択の有無で「1」「0」と設定)と個人の諸特性についても、同様にクロス集計と χ^2 -検定を行った。なお、一連の統計処理では、SPSS Statistics(ver.27, IBM)を用い、有意水準を5%未満とした。

IV. 結果

1. 見学経験の有無、見学の回数、授業内容(領域)、および見学の理由

体育授業における見学経験の有無について校種別および性別で表1に示した。男女ともに、見学経験の有無は、校種と有意に関連することが示された。女性は見学経験者の割合が小学校および中学校で高かった。

表1 体育授業で見学した経験(校種)

		n=	1. はい	2. いいえ
女性	小学校	127	77.2%	22.8%
	中学校	147	73.5%	26.5%
	高等学校	148	46.6%	53.4%
	校種間	[34.942, <.01]		
男性	小学校	101	72.3%	27.7%
	中学校	101	49.5%	50.5%
	高等学校	108	26.9%	73.1%
	校種間	[43.108, <.01]		
どちらでもない	小学校	7	85.7%	14.3%
	中学校	8	87.5%	12.5%
	高等学校	8	62.5%	37.5%
	校種間	-		
男女間	小: ns, 中: [16.921, <.01], 高: [12.169, <.01]			

※n:「はい」「いいえ」の合計人数

※[χ^2 値, p値]

男性も見学経験者の割合が小学校で高かった一方で、高等学校で低かった。男女間で見ると、中学校および高等学校で性差が見られ、女性の見学経験者の割合が男性より高かった。

1年間当たりの見学回数について表2に示した。女性では、1年間当たりの見学回数と校種の間には関連が認められず、校種間で類似した傾向であった。一方で、男性では校種によって異なる傾向が見られた。小学校では「0~3回程度」の割合が中学校および高等学校より高く、一方で中学校および高等学校では「10回以上」の割合が小学校より高かった。

見学経験のある授業内容（領域）について表3に示した。高等学校・男性を除き、いずれの校種・性においても特に「水泳」で見学の割合が顕著に多いことが示された。「水泳」での見学の割合は男女ともに校種と有意な関連が認められた。女性では小学校および中学校での割合が高く、男性では小学校での割合が高かった一方で高等学校での割合が低かった。「水泳」での見学の割合に

ついて男女間で検討したところ、中学校および高等学校で女性のほうが有意に高かった。また、「球技」における見学の割合は、男女ともに校種と有意な関連が認められ、いずれも高等学校での見学の割合が高かった。特に高等学校では、「球技」における見学の割合が女性より男性で顕著であった。

表2 1年間あたりの見学回数

		n =	1. 0~3回程度	2. 4~6回程度	3. 7~9回程度	4. 10回以上
女性	小学校	98	72.4%	17.3%	6.1%	4.1%
	中学校	108	63.9%	25.0%	6.5%	4.6%
	高等学校	69	59.4%	27.5%	4.3%	8.7%
	校種間	ns				
男性	小学校	73	86.3%	8.2%	4.1%	1.4%
	中学校	50	68.0%	16.0%	2.0%	14.0%
	高等学校	29	62.1%	20.7%	6.9%	10.3%
	校種間	13.243 (<.05)				
どちらでもない	小学校	6	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%
	中学校	7	42.9%	28.6%	0.0%	28.6%
	高等学校	5	40.0%	40.0%	0.0%	20.0%
	校種間	-				
男女間		小：ns, 中：ns, 高：ns				

※n：見学経験者の人数（表1「はい」の人数）

※ χ^2 値, p値]

表3 見学時の授業内容（領域）

		n =	1. 体づくり運動	2. 器械運動（体操）	3. 陸上競技（陸上運動）	4. 水泳	5. 球技（ボール運動）	6. ダンス（表現運動）	7. 武道	
女性	小学校	98	18.4%	19.4%	25.5%	67.3%	20.4%	2.0%		
	中学校	108	13.9%	13.9%	22.2%	75.9%	17.6%	9.3%	5.6%	
	高等学校	69	18.8%	11.6%	33.3%	44.9%	33.3%	8.7%	7.2%	
	校種間	水泳 [18.145, <.01], 球技 [6.372, <.05]								
男性	小学校	73	16.4%	27.4%	24.7%	60.3%	17.8%	2.7%		
	中学校	50	24.0%	16.0%	44.0%	44.0%	30.0%	10.0%	10.0%	
	高等学校	29	37.9%	17.2%	34.5%	17.2%	69.0%	10.3%	17.2%	
	校種間	水泳 [15.660, <.01], 球技 [25.225, <.01]								
どちらでもない	小学校	6	0.0%	33.3%	50.0%	66.7%	33.3%	0.0%		
	中学校	7	14.3%	14.3%	57.1%	57.1%	42.9%	0.0%	0.0%	
	高等学校	5	0.0%	0.0%	20.0%	20.0%	60.0%	0.0%	0.0%	
	校種間	-								
男女間		小：ns, 中：陸上競技 [7.854, <.01], 水泳 [15.485, <.01], 高：体づくり [4.024, <.05], 水泳 [6.734, <.01], 球技 [10.528, <.01]								

※n：見学経験者の人数（表1「はい」の人数）

※複数回答可のため、見学経験者の人数に対する選択肢毎の回答人数の割合で示した

※ χ^2 値, p値]

見学の理由について表4に示した。すべての校種・性において、「身体的理由（身体の状態に関する理由）」が顕著に多いことが示された。「身体的理由」の割合は、小学校および中学校で女性のほうが男性より有意に高かった。また、「管理的理由（ルール、忘れ物等に関する理由）」の割合は、

男女ともに校種と有意な関連が認められ、いずれも小学校での割合が高かった。特に小学校および中学校では、「管理的理由」での見学の割合が女性より男性で顕著であった。「精神的理由（意欲に関する理由）」については、校種間差および性差が認められなかった。

表4 見学の理由

		n =	1. 身体的理由	2. 管理的理由	3. 精神的理由
女性	小学校	98	81.6%	17.3%	16.3%
	中学校	108	92.6%	5.6%	13.0%
	高等学校	69	88.4%	5.8%	11.6%
	校種間	管理的理由 [9.750, <.01]			
男性	小学校	73	67.1%	31.5%	12.3%
	中学校	50	74.0%	16.0%	10.0%
	高等学校	29	82.8%	10.3%	13.8%
	校種間	管理的理由 [7.093, <.05]			
どちらでもない	小学校	6	33.3%	83.3%	16.7%
	中学校	7	85.7%	14.3%	28.6%
	高等学校	5	100.0%	0.0%	0.0%
	校種間	-			
男女間		小：身体的理由 [4.753, <.05], 管理的理由 [4.681, <.05], 中：身体的理由 [10.252, <.01], 管理的理由 [4.617, <.05], 高：ns			

※n：見学経験者の人数（表1「はい」の人数）

※複数回答可のため、見学経験者の人数に対する選択肢毎の回答人数の割合で示した

※ χ^2 値, p値]

表5-a 水泳の見学経験者における見学理由の回答状況

		n =	1. 身体的理由	2. 管理的理由	3. 精神的理由
女性	小学校	66	80.3%	19.7%	21.2%
	中学校	82	95.1%	4.9%	11.0%
	高等学校	31	93.5%	6.5%	6.5%
男性	小学校	44	54.5%	45.5%	15.9%
	中学校	22	59.1%	27.3%	18.2%
	高等学校	5	40.0%	40.0%	20.0%

※n：水泳の見学経験者数

※複数回答可のため、見学経験者の人数に対する選択肢毎の回答人数の割合で示した

表5-b 球技の見学経験者における見学理由の回答状況

		n =	1. 身体的理由	2. 管理的理由	3. 精神的理由
女性	小学校	20	95.0%	20.0%	15.0%
	中学校	19	94.7%	5.3%	31.6%
	高等学校	23	91.3%	8.7%	8.7%
男性	小学校	13	84.6%	23.1%	15.4%
	中学校	15	86.7%	6.7%	13.3%
	高等学校	20	85.0%	5.0%	20.0%

※n：球技の見学経験者数

※複数回答可のため、見学経験者の人数に対する選択肢毎の回答人数の割合で示した

表5では、特に見学の経験が多かった「水泳」および「球技」における見学の理由として回答した理由をそれぞれまとめた。「水泳」の見学経験者では、男女ともに「身体的理由」の割合が高い傾向であった。特に女性では「身体的理由」が顕著であり、それはすべての校種で男性より高い傾向が見られた。一方で、男性では「管理的理由」の割合が、すべての校種で女性より高い傾向であった。また、「球技」の見学経験者では、見学理由について男女ともに類似した傾向が見られ

た。男女ともに「身体的理由」の割合が高い傾向であった。なお、表5の解釈においては、あくまで「水泳」または「球技」の見学経験者が回答した見学の理由であり、見学の理由には他の授業内容（領域）の場合も含んでおり、必ずしも「水泳」や「球技」それぞれの授業における見学の理由を示したものではない、ということに留意する必要がある。また、表5については、各項目の回答数が少なかったことから、統計学的検証は行っていないことも付記する。

表6 見学するための手続き

		n =	1. 口頭で申し出る	2. 書面を提出する (保護者の同意が必要)	3. 書面を提出する (保護者の同意が不要)
女性	小学校	97	42.3%	53.6%	4.1%
	中学校	106	51.9%	42.5%	5.7%
	高等学校	68	73.5%	20.6%	5.9%
	校種間	[18.437, <.01]			
男性	小学校	73	65.8%	34.2%	0.0%
	中学校	49	69.4%	26.5%	4.1%
	高等学校	29	79.3%	20.7%	0.0%
	校種間	ns			
どちらでもない	小学校	6	83.3%	16.7%	0.0%
	中学校	7	57.1%	42.9%	0.0%
	高等学校	5	60.0%	40.0%	0.0%
	校種間	-			
男女間		小：[10.846, <.01], 中：ns, 高：ns			

※n：見学経験者の人数（表1「はい」の人数－無効回答）
 ※[χ²値, p値]

表7 見学時の過ごし方の決定プロセス

		n =	1. 先生の指示	2. 先生と自分で 相談	3. 自分からの 提案	4. クラスメイト からの提案
女性	小学校	98	86.7%	12.2%	1.0%	0.0%
	中学校	105	86.7%	10.5%	2.9%	0.0%
	高等学校	68	77.9%	19.1%	2.9%	0.0%
	校種間	ns				
男性	小学校	73	79.5%	16.4%	4.1%	0.0%
	中学校	50	72.0%	20.0%	8.0%	0.0%
	高等学校	28	64.3%	28.6%	7.1%	0.0%
	校種間	ns				
どちらでもない	小学校	5	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	中学校	7	57.1%	42.9%	0.0%	0.0%
	高等学校	5	40.0%	40.0%	20.0%	0.0%
	校種間	-				
男女間		小：ns, 中：ns, 高：ns				

※n：見学経験者の人数（表1「はい」の人数－無効回答）
 ※[χ²値, p値]

2. 見学の手続き

見学するための手続きについて表6に示した。すべての校種・性において、「口頭で申し出る」と「書面を提出する（保護者の同意が必要）」が見学の手続きのほとんどを占めた。女性では、見学の手続きと校種の間に関連が認められ、小学校で「書面を提出する（保護者の同意が必要）」の割合が高く、高等学校で「口頭で申し出る」の割合が高かった。小学校での見学の手続き

には、有意な性差が認められ、女性で「書面を提出する（保護者の同意が必要）」の割合が高く、男性で「口頭で申し出る」の割合が高かった。

見学時の過ごし方の決定プロセスについて表7に示した。すべての校種・性において類似した傾向が示された。「先生の指示」の割合が顕著であり、「先生と自分で相談」の割合を加えると、見学時の過ごし方の決定プロセスのほとんどがそれら2点で占められた。

表8 体育授業の好き嫌いに見学理由の関連性

(小学校)		n =	1. 好き	2. どちらかという と好き	3. どちらかという と嫌い	4. 嫌い	[χ^2 値, p値]
女性	身体的理由	80	48.8%	25.0%	20.0%	6.3%	ns
	管理的理由	17	64.7%	11.8%	11.8%	11.8%	ns
	精神的理由	16	12.5%	25.0%	37.5%	25.0%	[14.234, <.01]
男性	身体的理由	49	71.4%	12.2%	12.2%	4.1%	ns
	管理的理由	23	69.6%	8.7%	13.0%	8.7%	ns
	精神的理由	9	33.3%	11.1%	44.4%	11.1%	[10.282, <.05]
どちらでもない	身体的理由	2	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	-
	管理的理由	5	20.0%	60.0%	20.0%	0.0%	-
	精神的理由	1	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	-
(中学校)		n =	1. 好き	2. どちらかという と好き	3. どちらかという と嫌い	4. 嫌い	[χ^2 値, p値]
女性	身体的理由	100	42.0%	25.0%	19.0%	14.0%	[18.894, <.01]
	管理的理由	6	16.7%	16.7%	16.7%	50.0%	ns
	精神的理由	14	0.0%	14.3%	14.3%	71.4%	[31.367, <.01]
男性	身体的理由	37	67.6%	13.5%	8.1%	10.8%	[10.749, <.05]
	管理的理由	8	12.5%	37.5%	12.5%	37.5%	ns
	精神的理由	5	0.0%	20.0%	20.0%	60.0%	[10.278, <.05]
どちらでもない	身体的理由	6	16.7%	33.3%	33.3%	16.7%	-
	管理的理由	1	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	-
	精神的理由	2	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	-
(高等学校)		n =	1. 好き	2. どちらかという と好き	3. どちらかという と嫌い	4. 嫌い	[χ^2 値, p値]
女性	身体的理由	61	42.6%	29.5%	13.1%	14.8%	ns
	管理的理由	4	25.0%	25.0%	0.0%	50.0%	ns
	精神的理由	8	12.5%	0.0%	12.5%	75.0%	[19.400, <.01]
男性	身体的理由	24	54.2%	37.5%	4.2%	4.2%	[8.008, <.05]
	管理的理由	3	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	ns
	精神的理由	4	25.0%	0.0%	50.0%	25.0%	[11.379, <.05]
どちらでもない	身体的理由	5	60.0%	20.0%	0.0%	20.0%	-
	管理的理由	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	-
	精神的理由	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	-

※n：理由別の見学経験者の人数

3. 見学経験の有無と個人の諸特性との関連

見学経験の有無と個人の諸特性との関連について検討した。その結果、対象者個々における体育授業の好き・嫌い、体育授業の評定、体力テストの成績、体格のいずれの諸特性も、見学経験の有無と有意な関連が認められなかった。さらに、見学の各理由と個人の諸特性との関連について検討したところ、体力テストの成績、体格とは関連が見られなかったが、体育授業の好き・嫌い、体育授業の評定は見学の身体的理由あるいは精神的理由と一部で有意な関連が認められた（表8, 9）。

V. 考察

1. 見学経験の有無、見学の回数、授業内容（領域）、および見学の理由

体育授業の見学経験の割合は、男女ともに小学校で顕著に高かった（表1）。見学の理由を見ると、「管理的理由」の割合が同様に男女ともに小学校で高かった（表4）。このことから、小学校の体育授業での見学に「管理的理由」が関与していることが推察される。調査時に、「管理的理由」の説明として「ルール、忘れ物等に関する理由」と記載していた。「管理的理由」の詳細は、

表9 体育の評定と見学理由の関連性

(小学校)		n =	1	2	3	4	5	[χ^2 値, p値]
女性	身体的理由	80	0.0%	3.8%	32.5%	26.3%	37.5%	ns
	管理的理由	17	0.0%	0.0%	35.3%	23.5%	41.2%	ns
	精神的理由	16	0.0%	0.0%	50.0%	31.3%	18.8%	ns
男性	身体的理由	49	0.0%	2.0%	20.4%	34.7%	42.9%	ns
	管理的理由	23	0.0%	4.3%	30.4%	30.4%	34.8%	ns
	精神的理由	9	0.0%	0.0%	55.6%	33.3%	11.1%	ns
どちらでもない	身体的理由	2	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	-
	管理的理由	5	0.0%	0.0%	80.0%	0.0%	20.0%	-
	精神的理由	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	-
(中学校)		n =	1	2	3	4	5	[χ^2 値, p値]
女性	身体的理由	100	2.0%	3.0%	28.0%	33.0%	34.0%	ns
	管理的理由	6	0.0%	0.0%	50.0%	33.3%	16.7%	ns
	精神的理由	14	7.1%	7.1%	42.9%	28.6%	14.3%	ns
男性	身体的理由	37	2.7%	0.0%	27.0%	35.1%	35.1%	[15.056, <.01]
	管理的理由	8	12.5%	0.0%	50.0%	37.5%	0.0%	ns
	精神的理由	5	0.0%	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	[22.619, <.01]
どちらでもない	身体的理由	6	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	33.3%	-
	管理的理由	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	-
	精神的理由	2	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	-
(高等学校)		n =	1	2	3	4	5	[χ^2 値, p値]
女性	身体的理由	61	0.0%	1.6%	34.4%	29.5%	34.4%	ns
	管理的理由	4	0.0%	0.0%	75.0%	25.0%	0.0%	ns
	精神的理由	8	0.0%	0.0%	50.0%	25.0%	25.0%	ns
男性	身体的理由	24	0.0%	4.2%	12.5%	37.5%	45.8%	[8.676, <.05]
	管理的理由	3	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	42.3%	ns
	精神的理由	4	0.0%	50.0%	25.0%	25.0%	0.0%	[14.423, <.01]
どちらでもない	身体的理由	5	0.0%	0.0%	60.0%	20.0%	20.0%	-
	管理的理由	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	-
	精神的理由	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	-

※n：理由別の見学経験者の人数

※評定：最高 = 5, 最低 = 1 (5段階評価)

今回の定量的分析では明らかにできなかった。「管理的理由」の内容や内訳を定性的に分析することで、小学校の体育授業における見学の背景を詳らかにし、「管理的理由」に対する教育的配慮について検討することができるかと期待される。さらに、その「管理的理由」が体育授業において必要な管理要件に当たるのかも併せて検討が必要であろう。

中学校および高等学校では、体育授業における見学経験の割合に有意な性差が見られ、女性の見学経験者の割合が男性より高かった(表1)。中学校では身体的理由が男性より女性で有意に高い割合を示した(表4)。女性特有の見学理由として、月経に関連した理由が挙げられている(佐藤, 1988)。女性の初潮年齢は平均12.7歳(日野林ら, 2013)ということを見ると、中学校および高等学校で女性の見学経験者の割合が高い背景として、月経に関連した「身体的理由」があると推察される。また、女性は男性よりも運動・スポーツを消極的に捉えている者が多く、体育・スポーツへ忌避感を持つ者も多い(井谷ら, 2018; スポーツ庁, 2021)。本研究で中学校および高等学校において女性の見学経験者の割合が高かった背景には、月経以外の理由や、月経が表面上の理由であっても真意として別の理由(佐藤, 1988)が隠れていた可能性もある。

「精神的理由」による見学の割合は、校種・性いずれも有意差が認められず、およそ1割程度であった(表4)。これは、見学経験者の9割前後が理由として挙げた「身体的理由」とは大きく異なった。過去の報告では、怠惰(いわゆる「サボリ」)を自認する見学の例も挙げられている(石井, 1956; 佐藤, 1988)。校種・性問わず、本来「サボリ」は「精神的理由(意欲に関する理由)」による見学となるが、授業者に対する建前上の理由として「身体的理由」を用いていた可能性もある。ゆえに、今後の研究では建前上の見学理由と真の見学理由との関連性について検討することで、より詳細な見学の背景が明らかになるだろう。

年間の見学回数は、男女ともに6回以下と回答した者がおよそ8割以上を占めた(表2)。学校教育法施行規則(2021年2月26日改正)および現行の学習指導要領によると、年間授業時数は小学校・体育で90~105時間、中学校・保健体育で105時間、高等学校・保健体育で81~93時間^註程度となっている。体育授業の見学経験者の多く

は、見学した時数が年間授業時数のおよそ7%以下であることが示された。表4「見学の理由」を見ると、男女ともに「身体的理由」が主たる理由となっていた。本調査では「身体的理由」が一時的な理由か慢性的な理由かについて明らかにすることができなかったが、見学回数(時数)と照らし合わせてみると、見学者の大多数は一時的な理由(一過性の体調不良や忘れ物等)によって見学をしていることが示唆された。

授業内容(領域)別に見学経験を見てみると、女性では校種問わず「水泳」と回答した割合が最も高く、中学校および高等学校での見学経験の割合が男性より女性で有意に高かった(表3)。加えて、「水泳」の見学経験者における見学理由の回答状況(表5-a)を参照すると、女性の場合、中学校および高等学校での見学理由の中で「身体的理由」は9割を超えていた。その理由の一つとして、月経が考えられる。教育現場では月経期間中の「水泳」参加に否定的な考えをもつ教員は少なくなく(藤原ら, 2002)、今なお教員の中には「月経=見学、欠席」という誤った認識があるのかもしれない。これらの結果は、中学校・高等学校での女性の見学およびその教育的配慮を考える上で、月経を含めた女性特有の見学の理由に関する詳細な検討が必須であることを示唆している。

見学時の授業内容(領域)については、上述した「水泳」に加え、「球技」においても見学経験の割合に校種間差が認められた(表3)。「球技」の場合、男女ともに高等学校での見学経験の割合が高かった。表5-bにて「球技」の見学経験者における見学理由の回答状況をまとめてみたものの、校種間で類似した傾向にあり、高等学校で「球技」の見学経験の割合が高くなる明確な理由は見出せなかった。本研究で選択肢として設定した3つの見学理由の割合は変わらずとも、それぞれの見学理由においてより詳細な内容や内訳が校種間で変化した可能性がある。今後、定性的研究によって高等学校で球技での見学経験の割合が高い背景を明らかにする必要がある。

2. 見学の手続き

見学するための手続きは、校種・性問わず、「口頭で申し出る」または「書面を提出する(保護者の同意が必要)」のいずれかがほとんどであった(表6)。女性は、小学校で「書面を提出する(保護者の同意が必要)」の割合が他校種より高く、また小学校・男性と比べても高かった。

「書面を提出する（保護者の同意が必要）」ためには、登校前に見学理由が明確になっている必要がある。すなわち、登校前に外傷や体調不良などの理由が明らかな場合である。一方、見学を「口頭で申し出る」背景には、登校前だけでなく登校後に見学理由が出現する場合も考えられる。例えば、忘れ物は登校後に判明する事実である。表4「見学の理由」によると、小学校・女性の見学理由は、同・男性より身体的理由の割合が高く、管理的理由の割合が低い。つまり、小学校・女性は同・男性と比べて、「口頭で申し出る」ような見学理由（忘れ物などの管理的理由）の割合が少なく、登校前に判明する見学理由（外傷や体調不良などの身体的理由）が多いことが推察される。

見学時の過ごし方の決定プロセスは、校種・性別問わず、「先生の指示」の割合が顕著であった（表7）。このことから、見学時の過ごし方は、学習者（児童・生徒）ではなく授業者が主体になり、決定されていたことが明らかとなった。また、「先生の指示」と「先生と自分で相談」の割合を合わせると、校種・性別を問わず、9割以上がそれらの決定プロセスによって見学時の過ごし方が決定されていた。「先生の指示」は授業運営上の管理として、児童・生徒へ指示していたものと推察される。一方で、「先生と自分で相談」は見学者（学習者）の状態を把握した上で見学時の過ごし方が決定される。見学者とは体育授業への参加に何らかの困難さを抱える者と考えられることもできる。文部科学省（2015）は障害のある者へ合理的配慮を講じる場合、建設的な対話に基づいて配慮を決定するよう指針を示している。見学時にも、澤江（2017）が指摘する教育権や運動・スポーツに関する発達権をどのように保障するかという視点で考えた場合、見学時の過ごし方（学習内容、方法）について「先生と自分で相談」（すなわち「建設的な対話」）をしながら一緒に考えていくことも必要であろう。また、学習者が見学時にどのように過ごし、どのように感じていたのかについては、今後の調査および定性的分析の中で明らかにしていきたい。

3. 見学経験の有無と個人の諸特性との関連

見学経験の有無と、各対象者の諸特性（体育授業の好き・嫌い、体育授業の評定、体力テストの成績、体格）との関連を検討したところ、有意な関連が認められなかった。体育授業における見学に関する過去の資料に目を通すと、見学の理由と

して、肢体不自由、内科的あるいは整形外科的疾患、月経などの身体的理由や、意欲や羞恥心などの精神的理由が存在することが報告されている（石井、1956；三浦ら、1988；大島、1991）。本研究では、身体的理由、精神的理由に加え、管理的理由も見学の理由として一定数を占めることが示された（表4）。一言に見学といっても、その理由は多様であること表している。

そこで、見学の各理由について、個人の諸特性との関連を検討した（表8, 9）。身体的理由による見学経験者には、体育授業を好意的に捉えている者の割合が高く（中学校・女性、中学校／高等学校・男性）、体育授業の評定が高い者の割合が高かった（中学校／高等学校・男性）。このような生徒は、体育授業にとどまらず、正課外においてもスポーツに積極的に参加していることが予想される。スポーツは少なからず外傷のリスクがあり、また日常的な激しいスポーツ活動は上気道感染症のリスクを高める（Nieman et al., 1994）。体育授業を好意的に捉えている者や評定が高い者は、一過性の疾患が見学の理由の一つとして推察される。本研究から身体的理由による見学経験者には体育授業を「やりたいが、行えない」という者が多いことが示された。慢性的な障害のある生徒に対して「困難さに応じた指導内容や指導方法の工夫（学習指導要領）」を講じることと同様に、一過性の疾患であっても、見学だけではなく、可能な身体機能を活かした体育授業への参加方法も検討していくことが必要であろう。

精神的理由による見学経験者には、体育授業を消極的に捉えている者の割合が高く（小学校／中学校／高校・女性、小学校／中学校／高等学校・男性）、体育授業の評定が低い者の割合が高かった（中学校／高等学校・男性）。精神的理由による見学は見学理由の1割程度ではある（表4）が、このような背景によって見学が生じたことは、体育の授業づくりにおける課題を示唆していると言えよう。本研究から精神的理由による見学経験者は体育授業を「やりたくないため、行わない」という者が多いことが示された。体育授業への忌避感が生じる背景を検討することや、個々の状態・技能で挑戦し有能感を得られるような授業内容を検討することは、精神的理由によって見学しようとする児童・生徒への配慮につながっていくと期待される。

4. 本研究の限界

本研究では、大学生が小学校・中学校・高等学校での体育授業をふりかえることで得られた結果をまとめたものである。そのため、現在の各校種での体育授業における見学状況を表した結果ではない。緒言でも述べたように、本研究を予備的研究と位置づけ、今後の現役の児童・生徒や教員を対象にした研究から、体育授業における見学の実態を明らかにする計画である。また、本研究では定量調査であったことから、見学理由の詳細（内容や内訳）や、見学時の過ごし方の詳細（活動内容や気持ち）までは明らかにすることができなかった。第2報では定性的研究を行い、それらの報告をする計画である。

V. まとめ

体育授業における見学では、①校種や性、授業内容（領域）に関連して特徴的な傾向が見られること、②見学時の過ごし方が授業者主体で決められること、③その理由に体育授業の好き・嫌いや評定が関連すること、が示された。

註

高等学校の授業時数については、小学校・中学校と異なる表現となっている。高等学校学習指導要領「総則」「第2款 教育課程の編成」には、「35単位時間の授業を1単位」として高等学校3年間で体育は「7～8単位」を標準単位数としている。 $(35\text{単位時間}) \times (7 \sim 8\text{単位}) \div (3\text{年間})$ で求めると、年間授業時数は81～93時間程度と考えられる。ただし、生徒の実態に合わせて増加させることもできるため、体育科のような専門学科に所属していた者はさらに多い授業時数であった可能性がある。

VI. 参考文献

- 藤原有子, 藤塚千秋, 石田博也, 米谷正造, 木村一彦. 児童・生徒における水泳授業時の月経指導について. 川崎医療福祉学会誌, 12(2): 331-339, 2002.
- 日野林俊彦, 清水真由子, 大西賢治, 金澤忠博, 南徹弘, 糸魚川直祐. 集団健康指標としての平均初潮年齢. 日本発達心理学会第24回大会発表論文集, 2013.
- 石井宗一. 体育見学者の実態とその指導について. 体育科教育, 4(1): 47-51, 1956.
- 井谷恵子, 三上純, 井谷聡子, 関めぐみ. 学習者の意識・経験からみた体育カリキュラムのジェンダー・ポリティクス: 性別二元制・異性愛主義に着目して. 京都教育大学紀要, 133: 165-179, 2018.
- 三浦孝仁, 鈴木久雄, 高橋香代. 見学者を減らす実践一人個人に適した体育指導を目指して一. 体育の科学, 38(10): 781-784, 1988.
- 文部科学省. 文部科学省所管事業分野における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応指針. 2015.
- 文部科学省. 小学校学習指導要領. 2017.
- 文部科学省. 小学校学習指導要領解説(体育編). 2017.
- 文部科学省. 中学校学習指導要領. 2017.
- 文部科学省. 高等学校学習指導要領解説(保健体育編). 2017.
- 文部科学省. 高等学校学習指導要領. 2018.
- 文部科学省. 高等学校学習指導要領解説(保健体育編). 2018.
- Nieman. Exercise, upper respiratory tract infection, and the immune system. Med Sci Sports Exerc. 26(2): 128-39. 1994.
- 大島朋子. 体育授業の悩みQ&A. 学校体育. 44(14): 29, 1991.
- 佐藤良子. 女子学生についての授業管理と見学. 体育の科学, 38(10): 766-770, 1988.
- 澤江幸則, 綿引清勝, 杉山文乃. インクルーシブ体育の現状と課題. 体育の科学, 67(5): 335-340, 2017.
- スポーツ庁. 令和3年度全国体力・運動能力, 運動習慣等調査結果. 2021.

付録 本研究で用いた質問フォーム

<p>1. 本調査への協力について*</p> <p>このたび、「体育授業の見学における課題抽出に向けた予備的研究」に関する以下①～⑭の項目について、説明書を読み、次の項目について理解致しました。①研究の概要（研究課題名、研究機関の名称、研究責任者の氏名及び共同研究機関の名称と共同研究機関の研究責任者の氏名）②研究の実施について研究機関の長の承認を受けていること。③研究の目的、意義、方法（研究対象者から取得する試料・情報の利用目的を含む）及び期間。④研究対象者として選定された理由。⑤研究の参加によって生じる負担並びにリスク及び利益。⑥音声及び画像の取得並びにその使用、公開方法に関すること。⑦研究の参加・継続は任意であり、参加・継続しないことで不利益な扱いを受けないこと。また、同意した場合でもいつでも辞退でき、それにより、不利益な取り扱いを受けないこと。⑧研究に関する情報公開の方法。⑨他の参加者等の個人情報等の保護及び当該研究の独創性の確保に支障がない範囲内で研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手・閲覧できること。及びその入手・閲覧の方法。⑩個人情報等の取扱いに関すること（プライバシー保護の十分な対応をし、匿名化する場合にはその方法、匿名加工情報又は非識別加工情報を作成する場合にはその旨を含む）。⑪試料・情報の保管及び廃棄の方法。⑫研究の資金源等、研究機関及び研究者等に利益相反の状況に関すること。⑬研究対象者等及びその関係者からの相談等への対応及び相談先（ただし、他の研究対象者の個人情報の保護、研究者の知的財産の程の観点から回答できないこともありうること）。⑭（参加者等に経済的負担又は謝礼がある場合）参加に伴う経済的負担・謝礼の内容。以上①～⑭の事項について確認の上、本研究への参加について同意いたします。1つだけマークしてください。同意します/同意しません（回答しません）</p>	<p>8. 各時期にあなたは体育授業が好きでしたか？*</p> <p>1行につき1つだけマークしてください。</p> <p>1.好き/2.どちらかというが好き/3.どちらかという嫌い/4.嫌い× 小学校/中学校/高等学校</p>
<p>2. 性別*</p> <p>1つだけマークしてください。</p> <p>1.女性/2.男性/3.どちらともいえない</p>	<p>9. 各時期にあなたの体育または保健体育（体育分野）の評定評価（最高点=5）はどのくらいでしたか？* 5段階評価でなかった場合には、5段階評価にした場合にどれくらいに相当するかをご回答ください。1行につき1つだけマークしてください。</p> <p>5/4/3/2/1× 小学校/中学校/高等学校</p>
<p>3. 現在の年齢*</p> <p>1つだけマークしてください。</p> <p>20/21/22/23/24/25/26/27/28/29/30歳以上</p>	<p>10. 各時期にあなたの体力テストの成績はどのくらいでしたか？* 1行につき1つだけマークしてください。</p> <p>1.上位/2.中位（どちらかという上位）/3.中位（どちらかという下位）/4.下位× 小学校/中学校/高等学校</p>
<p>4. 現在の所属学科*</p> <p>1つだけマークしてください。</p> <p>1.教育系の学科（保健体育）※健康・体育・スポーツ科学系の学科も含む/2.教育系の学科（小学校）/3.教育系の学科（その他）/4.上記以外の学科</p>	<p>11. 各時期にあなたの体格はどのくらいでしたか？下図「肥満度判定曲線」を参考に、当時のあなたの身長に対して、当時のあなたの体重は、どの程度の肥満度の範囲内にあるかを確認してください。男性と女性で図が異なるため、お間違いのないようご注意ください。1行につき1つだけマークしてください。</p> <p>1.やせ傾向（当時の身長、体重が青線より下の範囲） 2.標準（当時の身長、体重が赤線と青線の間の範囲） 3.肥満傾向（当時の身長、体重が赤線より上の範囲）</p>
<p>5. 運動制限が必要な病気、ケガの経験（疾患名と時期）（自由記述）</p>	<p>12. あなたが小学生の時に体育授業で見学した経験がありますか？* 1つだけマークしてください。</p> <p>1.はい/2.いいえ 質問23にスキップします /3.覚えていない 質問23にスキップします</p>
<p>6. 障害の有無（障害者手帳の発行または診断の経験がありますか？）</p> <p>1.肢体不自由/2.視覚障害/3.聴覚障害/4.内部障害 5.知的障害/6.発達障害/7.精神障害（発達障害以外）/8.上記に該当しない</p>	<p>13. 1年間あたりの見学回数はおおよそどのくらいでしたか？（部分的な見学も含む。ただし、試合等の待ち時間における見学は含まない。）（小学生の時）* 1つだけマークしてください。</p> <p>1.0~3回程度/2.4~6回程度/3.7~9回程度/4.10回以上</p>
<p>7. 各時期にあなたが通学した学校/学級の種類*</p> <p>1行につき1つだけマークしてください。</p> <p>1.一般校/一般学級/2.一般校/特別支援学級（部分的な通級も含む）/3.特別支援学校× 小学校/中学校/高等学校</p>	<p>14. 見学した時の体育授業について、あてはまるものを全て選択してください。（小学生の時）* 当てはまるものをすべて選択してください。</p> <p>1.体づくり運動/2.器械運動（体操）/3.陸上競技（陸上運動）/4.水泳/5.球技（ボール運動）/6.ダンス（表現運動）</p>
<p>8. 各時期にあなたが通学した学校/学級の種類*</p> <p>1行につき1つだけマークしてください。</p> <p>1.一般校/一般学級/2.一般校/特別支援学級（部分的な通級も含む）/3.特別支援学校× 小学校/中学校/高等学校</p>	<p>15. 見学した時の理由を教えてください。（小学生の時）*</p> <p>当てはまるものをすべて選択してください。</p> <p>1.参加できなかったため（身体の状態に関する理由）/2.参加が認められなかったため（ルール、忘れ物等に関する理由）/3.参加しなくなかったため</p>
<p>9. 各時期にあなたが通学した学校/学級の種類*</p> <p>1行につき1つだけマークしてください。</p> <p>1.一般校/一般学級/2.一般校/特別支援学級（部分的な通級も含む）/3.特別支援学校× 小学校/中学校/高等学校</p>	<p>16. 見学の理由が「身体の状態に関する理由」であった場合、その詳細について教えてください。（小学生の時）（自由記述）</p>
<p>10. 各時期にあなたが通学した学校/学級の種類*</p> <p>1行につき1つだけマークしてください。</p> <p>1.一般校/一般学級/2.一般校/特別支援学級（部分的な通級も含む）/3.特別支援学校× 小学校/中学校/高等学校</p>	<p>17. 見学の理由が「ルール、忘れ物等に関する理由」であった場合、その詳細について教えてください。（小学生の時）（自由記述）</p>
<p>11. 各時期にあなたが通学した学校/学級の種類*</p> <p>1行につき1つだけマークしてください。</p> <p>1.一般校/一般学級/2.一般校/特別支援学級（部分的な通級も含む）/3.特別支援学校× 小学校/中学校/高等学校</p>	<p>18. 見学の理由が「意欲に関する理由」であった場合、その詳細について教えてください。（小学生の時）（自由記述）</p>

<p>19. 見学するための手続きを教えてください。(小学生の時) *1つだけマークしてください。 1. 口頭で申し出る(口頭) / 2. 書面を提出する(保護者の同意が必要) / 3. 書面を提出する(保護者の同意が不要) / その他:</p>	<p>32. 見学時の過ごし方は、どのように決まりましたか?(中学生の時) *1つだけマークしてください。 1. 先生の指示 / 2. 先生と自分で相談 / 3. 自分からの提案 / 4. クラスメイトからの提案 / その他:</p>
<p>20. 見学した時、どのような過ごし方をしましたか?(何をしましたか?)(小学生の時) * (自由記述)</p>	<p>33. 見学時の過ごし方について、当時、あなたはどのように感じましたか?(自由記述)</p>
<p>21. 見学時の過ごし方は、どのように決まりましたか?(小学生の時) *1つだけマークしてください。 1. 先生の指示 / 2. 先生と自分で相談 / 3. 自分からの提案 / 4. クラスメイトからの提案 / その他:</p>	<p>34. あなたが高校生の時に体育授業で見学した経験がありますか? *1つだけマークしてください。 1. はい / 2. いいえ 送信にスキップします / 3. 覚えていない送信にスキップします</p>
<p>22. 見学時の過ごし方について、当時、あなたはどのように感じましたか?(自由記述)</p>	<p>35. 1年間あたりの見学回数はおよそどれくらいでしたか?(部分的な見学も含む。ただし、試合等の待ち時間における見学は含まない。)(高校生の時) *1つだけマークしてください。 1. 0~3回程度 / 2. 4~6回程度 / 3. 7~9回程度 / 4. 10回以上</p>
<p>23. あなたが中学生の時に体育授業で見学した経験がありますか? *1つだけマークしてください。 1. はい / 2. いいえ 質問34にスキップします / 3. 覚えていない質問34にスキップします</p>	<p>36. 見学した時の体育授業について、あてはまるものを全て選択してください。(高校生の時) * 当てはまるものをすべて選択してください。 1. 体づくり運動 / 2. 器械運動(体操) / 3. 陸上競技(陸上運動) / 4. 水泳 / 5. 球技(ボール運動) / 6. ダンス(表現運動)</p>
<p>24. 1年間あたりの見学回数はおよそどれくらいでしたか?(部分的な見学も含む。ただし、試合等の待ち時間における見学は含まない。)(中学生の時) *1つだけマークしてください。 1. 0~3回程度 / 2. 4~6回程度 / 3. 7~9回程度 / 4. 10回以上</p>	<p>37. 見学した時の理由を教えてください。(高校生の時) * 当てはまるものをすべて選択してください。 1. 参加できなかったため(身体の状態に関する理由) / 2. 参加が認められなかったため(ルール、忘れ物等に関する理由) / 3. 参加したくなかったため</p>
<p>25. 見学した時の体育授業について、あてはまるものを全て選択してください。(中学生の時) * 当てはまるものをすべて選択してください。 1. 体づくり運動 / 2. 器械運動(体操) / 3. 陸上競技(陸上運動) / 4. 水泳 / 5. 球技(ボール運動) / 6. ダンス(表現運動)</p>	<p>38. 見学の理由が「身体の状態に関する理由」であった場合、その詳細について教えてください。(高校生の時)(自由記述)</p>
<p>26. 見学した時の理由を教えてください。(中学生の時) * 当てはまるものをすべて選択してください。 1. 参加できなかったため(身体の状態に関する理由) / 2. 参加が認められなかったため(ルール、忘れ物等に関する理由) / 3. 参加したくなかったため</p>	<p>39. 見学の理由が「ルール、忘れ物等に関する理由」であった場合、その詳細について教えてください。(高校生の時)(自由記述)</p>
<p>27. 見学の理由が「身体の状態に関する理由」であった場合、その詳細について教えてください。(中学生の時)(自由記述)</p>	<p>40. 見学の理由が「意欲に関する理由」であった場合、その詳細について教えてください。(高校生の時)(自由記述)</p>
<p>28. 見学の理由が「ルール、忘れ物等に関する理由」であった場合、その詳細について教えてください。(中学生の時)(自由記述)</p>	<p>41. 見学するための手続きを教えてください。(高校生の時) *1つだけマークしてください。 1. 口頭で申し出る(口頭) / 2. 書面を提出する(保護者の同意が必要) / 3. 書面を提出する(保護者の同意が不要) / その他:</p>
<p>29. 見学の理由が「意欲に関する理由」であった場合、その詳細について教えてください。(中学生の時)(自由記述)</p>	<p>42. 見学した時、どのような過ごし方をしましたか?(何をしましたか?)(高校生の時) * (自由記述)</p>
<p>30. 見学するための手続きを教えてください。(中学生の時) *1つだけマークしてください。 1. 口頭で申し出る(口頭) / 2. 書面を提出する(保護者の同意が必要) / 3. 書面を提出する(保護者の同意が不要) / その他:</p>	<p>43. 見学時の過ごし方は、どのように決まりましたか?(高校生の時) *1つだけマークしてください。 1. 先生の指示 / 2. 先生と自分で相談 / 3. 自分からの提案 / 4. クラスメイトからの提案 / その他:</p>
<p>31. 見学した時、どのような過ごし方をしましたか?(何をしましたか?)(中学生の時) * (自由記述)</p>	<p>44. 見学時の過ごし方について、当時、あなたはどのように感じましたか?(自由記述)</p>